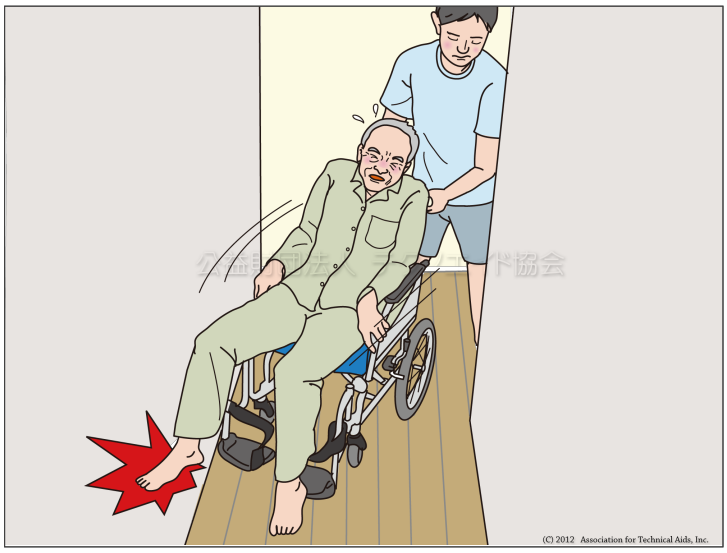
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：140
角をうまく回れず、足がぶつかってケガをしそうになる

場面の説明

廊下の角で死角になっていたため介助者には前方がよくみえず、利用者のつま足を壁にぶつけてしまった



利用シーン	移動
主な利用場所	廊下
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

車いすの後ろからでは、足先は死角になり見えづらいことが多くあります。また、利用者の座る姿勢がいわゆるずっこけ座りになっていると、足先はフットサポートから飛び出し、想像以上に前方に飛び出していることがあります。足先の位置を確認して走行することはもちろんですが、座位姿勢を直したり、万一接触してもケガをしないように靴を履いたりする対策が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：死角になっている箇所に注意がいかなかった
人：利用者の姿勢が崩れていても気にかけなかった
モノ：車いすが利用者に合っていない
環境：狭い通路だった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：140

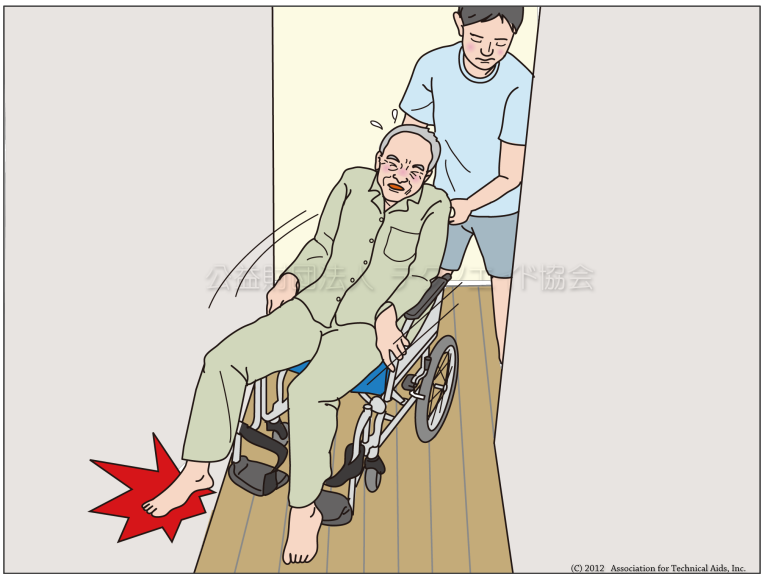
角をうまく回れず、足がぶつかってケガをしそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

廊下の角で死角になっていたため介助者には前方がよくみえず、利用者のつま足を壁にぶつけてしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.